



# ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆  
 (カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)  
 【今月の一冊】はじめの一步を踏み出そう  
 マイケル・E・ガーバー 著 世界文化社  
 ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2014年4月1日 Vol. 138  
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
 代表取締役 渡邊 敏徳  
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地  
 TEL 0554-67-8006 FAX 0554-22-2859

## おてんとう様

小さい頃にいたずらをすると、「おてんとう様のバチがあたるぞ!」とよく叱られたことを思い出します。「おてんとう様のバチ」という言葉の力はどんな意味を持っているのでしょうか。人としてやってはいけないことだと理解しているのですが、心の中に何とも不思議な気持ちが残る言葉だと感じています。

おてんとう様は“お天道様”であり、日の出の太陽、真昼の太陽、日没の太陽を意味する「三本足のカラス」の姿をしているそうです。カラスは、神武天皇の東征の時の道案内をしたという神話の八咫鳥(やたがらす)であり、熊野の神のお使いとされています。この八咫鳥(やたがらす)は、みなさんご存知の日本サッカー協会のシンボルが「おてんとう様(お天道様)」です。

日本は“神の国”と言われています。太陽を崇拝し、私たちの祖先は農耕民族として太陽を信仰してきた歴史があります。農耕にとって大切な、“太陽の神”と“水の神”を祭ってきました。これらは、縄文時代から続いてきた神道の形です。山には山の神があり、海には海の神がいます。山川草木(さんせんそうもく)、すべてが“神”なのです。

私たち日本人は、「そんなことをしたら神様に申し訳ない」「誰も見ていなくてもおてんとう様は見ている」と言って生活してきました。日本文化の根本思想である「草木国土悉皆成仏(そうもくこくどしっかいじょうぶつ)」という考え方を守ってきています。



科学の進歩により、私たち人間は自然をないがしろにし、自己中心的で利己的な考え方がとても増えてきていると思うのです。自然との共生とは言いながら、自然界の法則に逆らっていく生き方は、人類にとってとても危険です。おてんとう様に恥じない生き方を少しでもしていきたいものです。

### ◇新成人の『将来の働き方』に関する調査

新成人の7割が「仕事よりプライベートを重視で働きたい」を占め、「バリバリ働きたい」は2割程度にとどまっています。これらの新成人の多くは近い将来社会人になります。採用や指導を担当する方は、こうした考え方を理解しておく必要があります。

## 行動はどんな時?

人はどんな時に行動するのでしょうか。ちょっと考えてみたいと思います。「あなたは、毎日残業でクタクタになるまで働いているとします」。今日も残業で午前0時ごろ帰宅し、お風呂に入り、クタクタになりながらも、やっとベッドに入りました。

そこで、親友から次のような電話がかかってきました。「深夜の中古車セールがあるらしいぞ!今夜だけの格安即売会らしいから今から行こうぜ!」。こんなお誘いにはあなたは行きますか? やっと身体を休める時間になったのに、クタクタで眠い目をこすりながらその即売会に行きますか……。もちろん車好きの人で、欲しい車があれば行くかもしれませんが、殆どの人はNOという答えを出すのではないのでしょうか。

では、次の場合はどうでしょうか。やはり、今日も残業で午前0時ごろ帰宅し、お風呂に入り、クタクタになりながらも、やっとベッドに入りました。

そこで、近所の人から電話がかかってきました。「今、あなたの車を盗もうとしている人がいますよ」。さて、あなたはどうしますか? 疲れているからそのまま放って置きますか。それとも飛び起きて自分の車を守りに行きますか。

私たちには『得る事よりも、失う時に行動する』、こんな傾向があるのではないのでしょうか。こうした傾向は、私たち人間の本能なのかもしれません。毎日の生活や仕事の中で活かせる「行動のヒント」になるかもしれませんね。



### 【座右の銘にしたい名言】



成し遂げんとした志を、ただ一回の敗北によって捨ててはならぬ。

(シェイクスピア/劇作家、詩人)